

日本学術会議
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会(第25期・第5回)
議事要旨

日時 令和4年2月21日(月)15:00～17:00

会場 ビデオ会議にて開催

出席(分科会委員) 春日文子、窪川かおる、鈴木康弘、谷口真人、日置光久、氷見山幸夫、福士謙介、山形俊男、山口しのぶ、小田宏信、小林亮、丹羽淑博

(オブザーバー)(ESD/SDGsカリキュラム小委員会委員) 新井雅晶、棚橋乾、安田昌則、

(海の学びカリキュラム小委員会委員) 嵩倉美帆

(事務局) 薦田有紀子、小山堯

資料:

資料1: 学術フォーラム企画案

議題

1) 学術フォーラム(令和4年6月5日開催)の内容について

- ・資料1にもとづいて、学術フォーラムの企画趣旨を確認した上で、各報告の概要について担当者から説明を行った。
- ・中学生、高校生、大学生などユースに参加を呼びかけて、ディスカッションで発言する機会を設けることとした。
- ・山口委員より、ユースの参加呼びかけについて、次世代ユネスコ国内委員会(Youth Commission)および国連大学SDG大学連携プラットフォーム(国内31大学参加)のネットワークが活用できるとの説明があった。

2) 学術フォーラムの準備と実施方法について

- ・フォーラム開催時期に緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が適用されていなければ、政府の基本指針に従って、ハイブリッド形式(オンライン参加と会場定員を設けた上での対面参加を併用)での実施を目指すことを決めた。
- ・登壇者の合意が得られれば、事後配信(見逃し配信)も可能であることを確認した。
- ・ハイブリッド形式で開催する場合、当日の会場受付などの対人的な対応作業は分科会で担当することを確認した。また、オンライン配信関係の作業は事務局が手配する配信業者が行うことを確認した。
- ・経費について、登壇者に対してのみ旅費および謝金を支払えること、オンライン配信関係費用は学術会議予算から支出されることを確認した。

- ディスカッションの方法について検討した。ハイブリッド開催の場合、先に会場からの質問を受け付け、次にオンラインで受け付けた質問のうちファシリテーターが精査・選択したものに対して回答するのがよいとの提案があった。オンラインでの質問受け付けは、配信業者のサポートを受けられることを確認した。
- オンライン参加者の参加形式について議論を行った。最近の学術会議主催イベントでは、オンライン参加者は YouTube 配信を視聴し、質問は別の専用フォームで受け付ける形式を取ってきたが、この形式だと登壇者とオンライン参加者の間のリアルタイムの相互コミュニケーションが難しい。そのため、今回のフォーラムでは他のオンライン参加形式も検討することにした。
- 4月 20 日(水)15 時～17時に分科会をオンラインで開催し、フォーラム準備の打ち合わせを行うことを決定した。登壇者の方々にも参加を呼びかけることとした。

3) 分科会に関する国際的・国内的動向について

- 谷口委員より、総合地球環境学研究所が主催して、地球環境問題解決のための超学際的研究を担う人材育成のための研修プログラム、第3回 TERRA スクール(Transdisciplinarity for Early career Researchers in Asia School) (期間 2 月 16 日～3 月 4 日)が日本を含むアジア各国から 17 名の若手研究者が参加して開催中であることの紹介があった。後日改めて話題提供することを希望。
- 福土委員より、Future Earth 日本サミット(Future Earth 日本委員会主催、3 月 18 日開催)について紹介があった。
- 春日委員より、フューチャー・アースの教科書を作る計画について紹介があった。
- 丹羽委員と日置委員より、それぞれ教科横断型の津波防災教育と水害防災教育の実践事例についての紹介があった(詳細は6月の学術フォーラムにて報告)。
- 日置委員より、当分科会の活動に深く関わってきた東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターの活動が今年 3 月をもって終了すること、これまでに 26 か所の海洋教育促進拠点が形成されたことの報告があった。
- 安田委員より、10 年前に ESD を学んだ教え子が現在教師になって ESD に取り組んでいるとの報告があった。
- 小林委員より、ESD における若者の参加と発言の大切さが指摘された。
- 山口委員より、日本 UNESCO が 2021 年に発足 70 周年を迎えたこと、次世代ユネスコ国内委員会 (Youth Commission)を設け参加する若者を募っていることなどの報告があった。

4) その他

- 特になし。